

高松宮妃癌研究基金 第 32 回 国際講演会

2012年11月30日 (金) 11:00 - 12:30

沖縄科学技術大学院大学

B250 セミナールーム [参加無料]

Stem Cells, Pluripotency and Nuclear Reprogramming

幹細胞、その多様性と細胞核のリプログラム

by Dr. Rudolf Jaenisch

マサチューセッツ工科大学 ルドルフ・ヤニッシュ教授

Member, Whitehead Institute for Biomedical Research

Professor, Department of Biology

Massachusetts Institute of Technology, MA, USA

Jaenisch 博士は、遺伝子の変異ではなく、DNA のメチル化のような遺伝子の後天的変化が、発生や分化に重要な役割を果たしていることを明らかにした先駆者の一人である。極めて早い時期 (1992 年) に DNA のメチル化酵素 (メチルトランスフェラーゼ) をノックアウトしたマウスを作成し、それが胎生致死を起こすことを示した。昨年はメチルトランスフェラーゼ、DNMT3A の欠損がマウスに肺がんを誘発することを発表されている。また、iPS 細胞 (人工多能性幹細胞) の分野でも、多能性、リプログラム、再生について、それに関わる転写因子の同定と作用機構、再生医療への応用など、数々の輝かしい業績を挙げている。

今回の講演では、ごく最近の成果も含めてお話いただき、この研究分野の個別化医療への応用などへの計り知れないポテンシャルと共に、その実際の現状と問題点についての博士の見解を伺う。

連絡先： 柳田充弘、佐二木健一 (sajiki@oist.jp)

沖縄科学技術大学院大学 (OIST) G0 細胞ユニット

〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶 1919-1

TEL: 098-966-8512 / FAX: 098-966-2890

